

令和3年度第4四半期（令和4年1月1日～令和4年3月31日）

## 環境放射線管理報告書

令04原機（サ放）002

令和4年 5月11日

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1  
名 称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
代表者の氏名 理事長 小口 正範 （公印省略）

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第21条第2項の規定により次のとおり報告します。

工場又は事業所	名 称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所
	所 在 地	茨城県那珂郡東海村大字村松4番地33

I. 海洋放出に係わる監視項目

測定対象	採取		測定		測定値 <sup>注1</sup>		平常の変動幅 <sup>注1,注3</sup> 最小～最大	単位	備考	
	採取点 <sup>注2</sup>	頻度	頻度	対象	最小～最大	比較対照 最小～最大				
海水	放出口付近 5点 (5点混合試料測定)	1回/3か月	1回/3か月	全β放射能 <sup>3</sup> H	ND ND		ND~0.043 ND	Bq/L	北約20km点は、第2四半期報告済。	
	久慈沖及び磯崎沖 2点	1回/6か月	1回/6か月	全β放射能 <sup>3</sup> H	ND ND		ND~0.043 ND			
	北約20km点 1点*	1回/年	1回/年	全β放射能 <sup>3</sup> H			ND~0.043 ND	Bq/L	第2四半期報告済。	
	放出口付近 5点 (5点混合試料測定) 北約20km点 1点*	1回/年	1回/年	<sup>90</sup> Sr <sup>106</sup> Ru <sup>134</sup> Cs <sup>137</sup> Cs <sup>144</sup> Ce <sup>238,240</sup> Pu			ND ND ND ~0.0079 ND ND			
海底土	放出口付近 5点 (5点混合試料測定)	1回/6か月	1回/6か月	<sup>90</sup> Sr			ND~0.092	Bq/kg・乾	第1四半期、第3四半期報告済。	
	久慈沖及び磯崎沖 2点 北約20km点 1点*			<sup>106</sup> Ru <sup>134</sup> Cs <sup>137</sup> Cs <sup>144</sup> Ce <sup>238,240</sup> Pu			ND ~1.4 ~26 ND 0.11~0.71			
海産生物	シラス	東海村地先 1点 約10km以遠 1点*	1回/3か月	1回/3か月	<sup>90</sup> Sr	—	—	ND	Bq/kg・生	東海村地先及び約10km以遠は採取不能。
					<sup>106</sup> Ru <sup>134</sup> Cs <sup>137</sup> Cs <sup>144</sup> Ce <sup>238,240</sup> Pu	—	—	ND ND ~0.57 ND ND		
	カレイ又はヒラメ	東海村地先 1点 約10km以遠 1点*	1回/3か月	1回/3か月	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND	Bq/kg・生	東海村地先の対象： ヒラメ 約10km以遠の対象： ヒラメ
					<sup>106</sup> Ru <sup>134</sup> Cs <sup>137</sup> Cs <sup>144</sup> Ce <sup>238,240</sup> Pu	ND 0.24	ND 0.55 <sup>注4</sup>	ND ~0.47 ND ND		
	貝類	久慈浜地先 1点 約10km以遠 1点*	1回/3か月	1回/3か月	<sup>90</sup> Sr	—	ND	ND	Bq/kg・生	久慈浜地先は採取不能。 約10km以遠の対象： ハマグリ
<sup>106</sup> Ru <sup>134</sup> Cs <sup>137</sup> Cs <sup>144</sup> Ce <sup>238,240</sup> Pu					—	ND ND ~0.14 ND ND~0.0039				
褐藻類 (ワカメ又はヒジキ等)	久慈浜地先 1点 磯崎地先 1点 約10km以遠 1点*	1回/3か月	1回/3か月	<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND~0.048	Bq/kg・生	久慈浜地先の対象： アラメ 磯崎地先の対象： アラメ 約10km以遠の対象： アラメ	
漁網	表面線量	東海村地先において曳航の漁網	1回/3か月	1回/3か月	β線吸収線量率	ND		ND	nGy/h	
					γ線表面線量率	ND		ND	nGy/h	
船体	表面線量	甲板	1回/3か月	1回/3か月	β線吸収線量率	ND		ND	nGy/h	
					γ線表面線量率	ND		ND	nGy/h	
海岸水	久慈浜海岸 1点 阿字ヶ浦海岸 1点 南北約20km点 各1点*	1回/6か月	1回/6か月	全β放射能 <sup>3</sup> H			ND~0.083 ND	Bq/L	第1四半期、第3四半期報告済。	
			1回/年	<sup>90</sup> Sr <sup>106</sup> Ru <sup>134</sup> Cs <sup>137</sup> Cs <sup>144</sup> Ce <sup>238,240</sup> Pu			ND~0.0020 ND ND ~0.0090 ND ND~0.000047	Bq/L	第3四半期報告済。	
海岸砂	表面線量	久慈浜海岸 1点 阿字ヶ浦海岸 1点 南北約20km点 各1点*	1回/3か月	1回/3か月	β線表面計数率	63, 91	77, 97	57~98	cpm	
					γ線表面線量率	29, 42	33, 42	24~51	nGy/h	

注1) ND: 定量下限値未満を示す。別表1に定量下限値を示す。

注2) \*: 比較対照を示す。

注3) 平常の変動幅は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を考慮して、令和2年度までの測定値により設定した。  
(事故影響を考慮した平常の変動幅の設定は、平成30年度第1四半期から運用開始。)

注4) 平常の変動幅の上限値を超過したため、その原因を参考メモに記す。

II. その他の保安規定で定める監視項目

測定対象	採取		測定		測定値 <sup>注1</sup>		平常の変動幅 <sup>注1, 注3</sup> 最小～最大	単位	備考	
	採取点 <sup>注2</sup>	頻度	頻度	対象	最小～最大	比較対照 最小～最大				
空間放射線	線量率	周辺監視区域内 9点 周辺監視区域外 3点	連続	連続	モニタリング ポスト	56～67	/	nGy/h	1時間値の月平均値を示す。 設置数: 8基	
	積算線量 (TLD)	周辺監視区域内 15点 周辺監視区域外 25点	連続	1回/3か月	モニタリング ステーション	40～45	38	μGy/91日	1時間値の月平均値を示す。 設置数: 4基	
空気	浮遊じん	周辺監視区域内 3点 周辺監視区域外 4点	連続	1回/週	全α放射能	0.021～0.075	0.027～0.080	ND～0.080	mBq/m <sup>3</sup>	
				1回/3か月	全β放射能	ND	ND	ND～0.93		
					<sup>90</sup> Sr	ND	ND	ND		
					<sup>137</sup> Cs	ND～0.0072	ND	～0.020		
	ヨウ素	周辺監視区域内 1点 周辺監視区域外 3点	連続	1回/週	<sup>131</sup> I	ND	ND	ND	mBq/m <sup>3</sup>	
気体状β放射能濃度	周辺監視区域内 1点 周辺監視区域外 3点	連続	連続	<sup>85</sup> Kr	ND	ND	ND	kBq/m <sup>3</sup>		
水分	周辺監視区域外 2点	連続	1回/月	<sup>3</sup> H	ND	ND	ND	Bq/L		
雨水	周辺監視区域内 1点	連続	1回/月	<sup>3</sup> H	ND	/	ND	Bq/L		
降下じん	周辺監視区域内 1点	連続	1回/月	全β放射能	ND～12	/	ND～27	Bq/m <sup>2</sup>		
飲料水	周辺監視区域内 1点 周辺監視区域外 3点	1回/3か月	1回/3か月	全β放射能	0.054～0.056	0.058	ND～0.080	Bq/L		
葉菜	周辺監視区域外 3点	1回/3か月	1回/3か月	<sup>131</sup> I	ND	ND	ND	Bq/kg・生	対象: 白菜、ホウレン草 第3四半期報告済。	
			1回/年	<sup>90</sup> Sr	/	/	ND～0.063			
				<sup>137</sup> Cs	/	/	～0.61			
				<sup>238,240</sup> Pu	/	/	ND			
精米	周辺監視区域外 3点	1回/年	1回/年	<sup>14</sup> C	/	/	0.22～0.24	Bq/g・炭素 Bq/kg・生	第3四半期報告済。	
			<sup>90</sup> Sr	/	/	ND				
牛乳	周辺監視区域外 2点	1回/3か月	1回/3か月	<sup>131</sup> I	ND	ND	ND	Bq/L・生	第3四半期報告済。	
			1回/年	<sup>90</sup> Sr	/	/	ND～0.029			
表土	周辺監視区域内 2点 周辺監視区域外 3点	1回/年	1回/年	<sup>90</sup> Sr	/	/	0.13～4.6	Bq/kg・乾	第3四半期報告済。	
				<sup>137</sup> Cs	/	/	別表2参照			
				<sup>238,240</sup> Pu	/	/	0.069～1.0			
				全β放射能	/	/	ND～0.12			
河川水	新川 3点 久慈川上流 1点*	1回/6か月	1回/6か月	全β放射能	/	/	ND～0.12	Bq/L	第1四半期、第3四半期報告済。	
			<sup>3</sup> H	/	/	ND				
河底土	新川 3点 久慈川上流 1点*	1回/6か月	1回/6か月	全β放射能	/	/	450～770	Bq/kg・乾	第1四半期、第3四半期報告済。	

注1) ND: 定量下限値未達を示す。別表1に定量下限値を示す。

注2) \*: 比較対照を示す。

注3) 平常の変動幅は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を考慮して、令和2年度までの測定値により設定した。  
(事故影響を考慮した平常の変動幅の設定は、平成30年度第1四半期から運用開始。)

注4) 平常の変動幅の上限値を超過したため、その原因を参考メモに記す。

別表1 定量下限値一覽

(1/2)

測定対象		測定対象	定量下限値			
			対象	定量下限値	単位	
海水	全β放射能		全β放射能	0.04	Bq/L	
	<sup>3</sup> H		<sup>3</sup> H	4		
	核種分析			<sup>90</sup> Sr	0.002	Bq/L
				<sup>106</sup> Ru	0.02	
				<sup>134</sup> Cs	0.008	
				<sup>137</sup> Cs	0.004	
				<sup>144</sup> Ce	0.02	
		<sup>239,240</sup> Pu	0.00002			
海底土	核種分析		<sup>90</sup> Sr	0.08	Bq/kg・乾	
			<sup>106</sup> Ru	6		
			<sup>134</sup> Cs	1		
			<sup>137</sup> Cs	0.8		
			<sup>144</sup> Ce	6		
			<sup>239,240</sup> Pu	0.04		
海産生物	核種分析		<sup>90</sup> Sr	0.02	Bq/kg・生	
			<sup>106</sup> Ru	0.8		
			<sup>134</sup> Cs	0.2		
			<sup>137</sup> Cs	0.04		
			<sup>144</sup> Ce	0.8		
			<sup>239,240</sup> Pu	0.002		
漁網	表面線量	β線吸収線量率	β線	30	nGy/h	
		γ線表面線量率	γ線	10	nGy/h	
船体	表面線量	β線吸収線量率	β線	30	nGy/h	
		γ線表面線量率	γ線	10	nGy/h	
海岸水	全β放射能		全β放射能	0.04	Bq/L	
	<sup>3</sup> H		<sup>3</sup> H	4		
	核種分析			<sup>90</sup> Sr	0.002	Bq/L
				<sup>106</sup> Ru	0.02	
				<sup>134</sup> Cs	0.008	
				<sup>137</sup> Cs	0.004	
				<sup>144</sup> Ce	0.02	
		<sup>239,240</sup> Pu	0.00002			
海岸砂	表面線量	β線表面計数率	β線	—	cpm	
		γ線表面線量率	γ線	—	nGy/h	

測定対象		測定対象	定量下限値		
			対象	定量下限値	単位
空間放射線	線量率	$\gamma$ 線	$\gamma$ 線	—	nGy/h
	積算線量(TLD)	$\gamma$ 線	$\gamma$ 線	—	$\mu$ Gy/91日
空気	浮遊じん	全 $\alpha$ 放射能	全 $\alpha$ 放射能	0.02	mBq/m <sup>3</sup>
		全 $\beta$ 放射能	全 $\beta$ 放射能	0.7	
		核種分析	<sup>90</sup> Sr	0.01	mBq/m <sup>3</sup>
			<sup>137</sup> Cs	0.007	
	<sup>239,240</sup> Pu		0.0001		
	ヨウ素	<sup>131</sup> I	<sup>131</sup> I	0.2	mBq/m <sup>3</sup>
	気体状 $\beta$ 放射能濃度	<sup>85</sup> Kr	<sup>85</sup> Kr	7	kBq/m <sup>3</sup>
水分中 <sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H	4	Bq/L	
雨水	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H	4	Bq/L	
降下じん	全 $\beta$ 放射能	全 $\beta$ 放射能	4	Bq/m <sup>2</sup>	
飲料水	全 $\beta$ 放射能	全 $\beta$ 放射能	0.04	Bq/L	
	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H	4		
葉菜	<sup>131</sup> I	<sup>131</sup> I	1	Bq/kg・生	
	核種分析	<sup>90</sup> Sr	0.04		
		<sup>137</sup> Cs	0.08		
		<sup>239,240</sup> Pu	0.0002		
精米	<sup>14</sup> C	<sup>14</sup> C	0.005	Bq/g・炭素	
	<sup>90</sup> Sr	<sup>90</sup> Sr	0.04	Bq/kg・生	
牛乳	<sup>131</sup> I	<sup>131</sup> I	0.2	Bq/L・生	
	<sup>90</sup> Sr	<sup>90</sup> Sr	0.02		
表土	核種分析	<sup>90</sup> Sr	0.08	Bq/kg・乾	
		<sup>137</sup> Cs	0.8		
		<sup>239,240</sup> Pu	0.04		
河川水	全 $\beta$ 放射能	全 $\beta$ 放射能	0.04	Bq/L	
	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H	4		
河底土	全 $\beta$ 放射能	全 $\beta$ 放射能	80	Bq/kg・乾	

別表2 空間放射線(線量率・積算線量)及び表土の測定値と平常の変動幅

1. 空間放射線・線量率

単位:nGy/h

対象	採取点 <sup>注1</sup>	令和4年1月		令和4年2月		令和4年3月	
		測定値	平常の変動幅 <sup>注2</sup>	測定値	平常の変動幅 <sup>注2</sup>	測定値	平常の変動幅 <sup>注2</sup>
γ線 (モニタリングポスト)	P1	60	57~73	61	57~73	61	57~73
	P2	66	60~77	66	60~77	66	59~77
	P3	66	59~80	67	59~80	67	59~80
	P4	58	51~75	58	51~75	58	50~75
	P5	56	49~75	56	49~75	56	49~75
	P6	57	48~76	57	48~75	57	48~75
	P7	65	54~94	65	54~95	65	54~95
	P8	64	55~90	65	55~90	64	55~90
γ線 (モニタリングステーション)	ST1	42	37~52	42	37~52	42	37~52
	ST2	40	36~57	40	36~58	40	36~58
	ST3	45	41~55	45	41~55	45	41~55
	ST4*	38	34~49	38	34~49	38	34~49

2. 空間放射線・積算線量

単位:μGy/91日

対象	採取点 <sup>注1</sup>	測定値	平常の変動幅 <sup>注2</sup>	対象	採取点 <sup>注1</sup>	測定値	平常の変動幅 <sup>注2</sup>
γ線	S1	150	~170	γ線	F18*	90	~90
	S2	130	~130		F22*	110	~110
	S3	120	~130		F24	120	~120
	S4	140	~150		F25	120	~130
	S5	120	~120		F26	110	~110
	S6	170	~190		F27	90	~90
	S7	120	~120		F28	130	~140
	S8	150	~160		F29	130	~140
	S9	170	~190		F30	140	~140
	S10	90	~110		F31	120	~120
	S11	130	~140		F32*	100 <sup>注3</sup>	~90
	S12	190	~210		F33*	110	~120
	S13	190	~210		F34	110 <sup>注3</sup>	~100
	S14	120	~120		F35*	90 <sup>注3</sup>	~80
	S15	110	~120		F36	130 <sup>注3</sup>	~110
			F37		100	~100	
			F38*		120	~120	
			F39		110	~120	
			F40		110	~120	
			F41		120	~130	
			F42*		110	~120	
			F43		230	~240	
			F44*		120	~120	
			F45*		120	~120	
			F50		100	~110	

3. 表土

単位:Bq/kg・乾

対象	採取点 <sup>注1</sup>	測定値	平常の変動幅 <sup>注2</sup>
<sup>137</sup> Cs	東海村照沼		~440
	ひたちなか市長砂		~680
	ひたちなか市東石川*		~830
	安全管理棟前		~330
	旧G棟東		~320

(第3四半期報告済)

注1) \*:比較対照を示す。

周辺監視区域内を示す。

注2) 平常の変動幅は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を考慮して、令和2年度までの測定値により設定した。

(事故影響を考慮した平常の変動幅の設定は、平成30年度第1四半期から運用開始。)

注3) 平常の変動幅の上限値を超過したため、その原因を参考メモに記す。

# 参 考 資 料

令和 3 年度 第 4 四半期

期 間 自 令和 4 年 1 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

## 1. 気体廃棄物の放出状況

### (1) 主排気筒に係る放出状況

#### イ. 放出期間

自 令和 4 年 1 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

#### ロ. 放出状況

対象期間に放出された主要核種と放出量は、以下のとおりであった。

主要核種	基準放出量 (注) (GBq/3か月)	対象期間放出量 (GBq/3か月)	備 考
$^{85}\text{Kr}$	$2.7 \times 10^7$	$5.3 \times 10^5$	※
$^3\text{H}$	$1.7 \times 10^5$	微	
$^{14}\text{C}$	$1.5 \times 10^3$	微	
$^{131}\text{I}$	4.8	微	
$^{129}\text{I}$	$5.2 \times 10^{-1}$	微	

・ (注) 主排気筒・第一付属排気筒・第二付属排気筒の合計。

・ 「微」とあるのは、定量下限値未満であることを示す。

※ $^{85}\text{Kr}$ は、クリプトン回収技術開発施設における管理放出。

(2) 第一付属排気筒に係る放出状況

イ. 放出期間

自 令和 4 年 1 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

ロ. 放出状況

対象期間に放出された主要核種と放出量は、以下のとおりであった。

主要核種	基準放出量 (注) (GBq/3か月)	対象期間放出量 (GBq/3か月)	備 考
$^{85}\text{Kr}$	$2.7 \times 10^7$	微	
$^3\text{H}$	$1.7 \times 10^5$	微	
$^{14}\text{C}$	$1.5 \times 10^3$	微	
$^{131}\text{I}$	4.8	微	
$^{129}\text{I}$	$5.2 \times 10^{-1}$	微	

・ (注) 主排気筒・第一付属排気筒・第二付属排気筒の合計。

・ 「微」とあるのは、定量下限値未満であることを示す。



(3) 第二付属排気筒に係る放出状況

イ. 放出期間

自 令和 4 年 1 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

ロ. 放出状況

対象期間に放出された主要核種と放出量は、以下のとおりであった。

主要核種	基準放出量 (注) (GBq/3か月)	対象期間放出量 (GBq/3か月)	備 考
$^{85}\text{Kr}$	$2.7 \times 10^7$	微	
$^3\text{H}$	$1.7 \times 10^5$	微	
$^{14}\text{C}$	$1.5 \times 10^3$	微	
$^{131}\text{I}$	4.8	微	
$^{129}\text{I}$	$5.2 \times 10^{-1}$	微	

- ・ (注) 主排気筒・第一付属排気筒・第二付属排気筒の合計。
- ・ 「微」とあるのは、定量下限値未満であることを示す。

2. 液体廃棄物の放出状況

イ. 放出期間

自 令和 4 年 1 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

#### ロ. 放出状況

対象期間中に放出された主要核種は以下のとおりであった。

主要核種	基準放出量 (GBq /3 か月)	対象期間放出量 (GBq /3 か月)	備考
全 $\alpha$ 放射能	1. 0	微	
全 $\beta$ 放射能 (注)	$2. 4 \times 10^2$	微	
$^{89}\text{Sr}$	4. 1	微	
$^{90}\text{Sr}$	8. 1	微	
$^{95}\text{Zr} - ^{95}\text{Nb}$	$1. 0 \times 10$	微	
$^{103}\text{Ru}$	$1. 6 \times 10$	微	
$^{106}\text{Ru} - ^{106}\text{Rh}$	$1. 3 \times 10^2$	微	
$^{134}\text{Cs}$	$1. 5 \times 10$	微	
$^{137}\text{Cs}$	$1. 4 \times 10$	微	
$^{141}\text{Ce}$	1. 5	微	
$^{144}\text{Ce} - ^{144}\text{Pr}$	$3. 0 \times 10$	微	
$^3\text{H}$	$4. 7 \times 10^5$	2. 4	
$^{129}\text{I}$	6. 7	微	
$^{131}\text{I}$	$3. 0 \times 10$	微	
$\text{Pu}(\alpha)$	$5. 9 \times 10^{-1}$	微	

- ・ (注) トリチウムを除く
- ・ 「微」とあるのは、定量下限値未満であることを示す。

#### 3. その他の状況

特になし

#### 4. 環境監視結果

平常の変動幅の上限値を超過した監視項目が見られたが、その要因は環境変動によるものであり、当研究所からの施設寄与ではないと判断した。

(参考メモ) 令和3年度第4四半期環境放射線モニタリング報告について

測定項目		今期の特徴	
海水		全β放射能	特になし
		<sup>3</sup> H	
		<sup>90</sup> Sr	報告対象外
		<sup>106</sup> Ru	
		<sup>134</sup> Cs	
		<sup>137</sup> Cs	
		<sup>144</sup> Ce	
		<sup>239,240</sup> Pu	
		<sup>239,240</sup> Pu	
海底土		<sup>90</sup> Sr	報告対象外
		<sup>106</sup> Ru	
		<sup>134</sup> Cs	
		<sup>137</sup> Cs	
		<sup>144</sup> Ce	
		<sup>239,240</sup> Pu	
海産生物		<sup>90</sup> Sr	シラス(東海村地先、約10km以遠)及び貝類(久慈浜地先)は、漁獲が無いため採取不能となった。 カレイ又はヒラメ(約10km以遠)及び褐藻類(久慈浜地先)の <sup>137</sup> Csについては、東京電力福島第一原子力発電所事故由来の <sup>137</sup> Csの環境変動により、平常の変動幅の上限値を超過した。
		<sup>106</sup> Ru	
		<sup>134</sup> Cs	
		<sup>137</sup> Cs	
		<sup>144</sup> Ce	
		<sup>239,240</sup> Pu	
漁網	表面線量	β線吸収線量率	特になし
		γ線表面線量率	
船体	表面線量	β線吸収線量率	特になし
		γ線表面線量率	
海岸水		全β放射能	報告対象外
		<sup>3</sup> H	
		<sup>90</sup> Sr	
		<sup>106</sup> Ru	
		<sup>134</sup> Cs	
		<sup>137</sup> Cs	
		<sup>144</sup> Ce	
		<sup>239,240</sup> Pu	
海岸砂	表面線量	β線表面計数率	特になし
		γ線表面線量率	

測定項目		今期の特徴
空間放射線	線量率	特になし
	積算線量(TLD)	周辺監視区域外の4点については、環境変動により平常の変動幅の上限値を超過した。
空気中放射性物質濃度	浮遊じん 全 $\alpha$ 放射能 全 $\beta$ 放射能 $^{90}\text{Sr}$ $^{137}\text{Cs}$ $^{239,240}\text{Pu}$	特になし
	$^{131}\text{I}$	特になし
	気体状 $\beta$ 放射能濃度	特になし
	水分中 $^3\text{H}$	特になし
雨水	$^3\text{H}$	特になし
降下じん	全 $\beta$ 放射能	特になし
飲料水	全 $\beta$ 放射能 $^3\text{H}$	特になし
葉菜	$^{131}\text{I}$ $^{90}\text{Sr}$ $^{137}\text{Cs}$ $^{239,240}\text{Pu}$	特になし } 報告対象外
精米	$^{14}\text{C}$ $^{90}\text{Sr}$	報告対象外
牛乳	$^{131}\text{I}$ $^{90}\text{Sr}$	特になし 報告対象外
表土	$^{90}\text{Sr}$ $^{137}\text{Cs}$ $^{239,240}\text{Pu}$	報告対象外
河川水	全 $\beta$ 放射能 $^3\text{H}$	報告対象外
河底土	全 $\beta$ 放射能	報告対象外